学生・住民との協働による阿蘇海景観保全活動

阿蘇海環境づくり協働会議

事務局　丹後広域振興局　宮津地域総務室　企画振興室

推薦理由

【アピールポイント（組織力の発揮）】

・阿蘇海の将来イメージを共有するため、地域住民とワークショップを重ね、阿蘇海流域ビジョンを策定し、関係市町の条例制定に向けた取組のきっかけを作る。

・懸案事項となっていた阿蘇海のカキ殻島をなくそうと、全国組織のNPO国際ボランティア学生協会及び地域住民と連携し、大規模なカキ殻撤去活動を展開。

・カキ殻撤去の様子が多くのマスコミに取り上げられ、カキ殻の活用等についての問い合わせがあり、新たな有効活用策の検討を開始。

【プロセスの工夫、横展開が可能な点】

・まず「目指すべき姿」の共有からスタート

・住民協働による取組とすることに重点を置き、常に地域の声を聞きながら事業を展開

・地域をより元気にするため、「若い力」と協働するとともに、交流の場も設定

取組内容（1）

➢ 取組の分野 （該当に〇、複数選択可）

創造的事業・府民サービス向上・ 業務効率化 ・ 職場環境改善

➢ 現状、課題

・住民主体の取組の推進
→景観破壊、悪臭発生（ゴミ、カキ殻）
→生活・農業排水等流入負荷の増大
（下水道接続、浅水代かき推進など）
・阿蘇海本体の浄化能力向上
→富栄養化による阿蘇海の水質悪化
（専門的対策：ヘドロ浄化、水質改善）

➢ 目指す姿、状態

・誰もが自慢に思う恵みと笑顔が溢れるふるさとの海
→ゴミのない、悪臭のしない海、川
→魚介類など恵み豊かな海
→水遊びできるほど奇麗な海
→サケが遡上する美しい川

➢ 取組の対象、顧客、ターゲット

・阿蘇海と周辺流域の住民、団体、企業
（宮津市及び与謝野町内）
・上記地域以外の協力者
（京丹後市及び高槻市内）

➢ チーム体制、ネットワーク

・発案、実行（ボトムアップ）
【リーダー】阿蘇海環境づくり協働会議
【キーマン】NPO国際ボランティア学生協会
【助言・調整】NPO丹後の自然を守る会
【支援者】天橋立ワイン㈱、渓里野間 他

取組内容（2）

➢ 取組内容とプロセス

＜着想（気づき）～ 企画立案、事業化まで＞

・課題共有のため阿蘇海流域ビジョンを策定
　→計4回、延べ151人によるワークショップ
　→宮津市、与謝野町で条例制定の検討へ
・ハード事業には数年間の専門的調査が必要
・地域住民と協働する工夫が必要
　→地元で問題意識の高いカキ殻問題に着手

工夫したポイント

・ワークショップ参加者を募るため、市町のネットワークだけでなく、府が中心となって一人一人に声かけ（申込者61人）
・専門ファシリテーターの指導も受けながらワークショップを実施

＜実行、実践の内容とプロセス＞

・カキ殻活用に向けた法的整理
　→一般廃棄物としてのカキ殻の取扱の整理
　→資源活用の可能性を関係者と協議
・国際ボランティア学生協会との連携
　→計3回（28年2月にも予定）、大学生の「若い力」の協力 を得ることで、地元の取組機運が高まりこれまでに無い取組が実現

工夫したポイント

・カキ殻活用の道筋をつけるため、府が先頭に立ち法的整理、活用先を開拓
・地元や大学生など参加者が「やって良かった」「またやりたい」と思えるよう密に事前調整、参加者の交流会を開催
　→協力者が増え、負担の軽減、取組の充実に繋がった。

結果とふり返り

➢ 成果、目標達成状況

・カキ殻約45トン回収（前年度実績30トン）
　→2月以降のカキ殻回収目標35トン（学生＋地元）
・渓里野間、大阪府内の農家でカキ殻を新たに資源活用
　→野間地区では放置竹林対策と併せてカキ殻を活用
・参加者の意識改革、ネットワーク拡大
　→マスコミ報道や口コミにより新たな参加者を獲得
　→実績が地元でも認められ、取組姿勢が前向きに変化
　→新たに阿蘇海環境づくりの取組を始める人達の出現

取組から学んだ点

・大学生ボランティアの若い力の参加により取組が波及した。
・丹後の自然を守る会のコーディネートにより、地元の学生受入体制を円滑に準備できた。
・机上で現場は動かない。まずやってみることが大事。良い取組には自然と人が集まる。

➢ 今後の展開

・カキ殻回収・活用の持続可能な仕組づくりを推進
　→具体的な取組の中で、意識づくり、交流の場づくり、取組の環づくりを推進
　→新たなカキ殻活用先の開拓
　（由良みかん農園、朝来漁協など）
・「若い力」の参加による課題解決の仕組づくりを推進
　→カキ殻だけでなく、阿蘇海環境づくり全体を盛り上げる。

さらに工夫したい点

・カキ殻回収の効率化
　（重機＋手作業など）
・拡大したネットワークを活用した情報収集、新たな仲間づくり
・取組に参加する人達それぞれの利害を十分に確認し、お互いWin－Winの関係になるようコーディネート能力を強化